

進路だより 2025

第 23 号

2025年 10月 8日 (水)

沖縄県立真和志高等学校
進路指導部

放課後に開催された PTA による面接体験講座が、10月7日(火)に実施されました。1, 2年生向けの内容になっていて、今回わざわざ放課後に時間を作って参加できた生徒は、とても進路活動への意識が高い一歩を踏み出せたと思います♪

mawashi high school

PTAによる特別講座★面接練習体験会 に潜入＆参加者へのインタビュー！



「緊張したけど、やってみてよかった」

肯定的な意見が飛び交った放課後—

PTAのみなさんと進路部が企画した、1, 2年生向けの面接体験講座。この機会に参加できた生徒は、進路活動の先取りができたってこと♪

「バイトの面接は事務所の隅っこでやる。でも今回は広い部屋で椅子がポツンとあって、集団だった。」

今回の体験会は、生徒が4〜6名ほどの集団面接形式で、面接官は2〜3名で実施。1人ずつ事前に用意された質問をして、生徒は順番よく回答していきまし

実際に参加した生徒へ、何人かインタビューをしてみました。

た。「大丈夫だと思っていたけど、意外と緊張する。」など、真剣な様子で挑む場の雰囲気、気後れする生徒もチラホラ。集団面接ということもあり、隣の人の回答が聞こえるので、嫌でも自分の頑張りと比較してしまい、身を引きしめる機会にもなりました。生徒は前半と後半組にわかれ、後方で待機してる後半組は、前半組の姿勢や答え方などを参考に、自分の考えや姿勢、返事の仕方等を直前まで修正する姿も見られました。

面接官は、回答を聞いて追加の質問をしたり、より深い回答が欲しい場合はアドバイスを加えながら質問をしたりなど、皆さんへのプラスになるように丁寧な指導をしていただきました。アドバイスの一例として、「全体的に緊張しているのか、声が小さい。姿勢が悪い。そもそも誰でも出来る基礎からやり直す必要がある。いいことを言っているのに勿体ない。答えは長く喋っている、面接官は覚えていられない可能性がある。」

「この人の話を続けて聞きたいなと思う生徒は、具体的に話をしてくれていて、色んな経験をしたんだろうなと背景まで見えてくる。」
学年やコース学科が入り乱れることで、他人の意見も参考にしながら、自分の今後の進路について考えさせられる機会にもなったと思います。

「自分が面接練習の為に書いた言葉が出てこなかったことが、後悔。緊張しすぎて、今聞かれている質問以外の言葉が出てきそうになった。」(2年進学希望者)
「面接官はアドバイス多めで進めてくれたから、学びながら練習することができて、不安が少なかった。集団面接は3年生になってからできるかも分からないし、直前で練習して緊張するよりは、雰囲気前もって知れたのが良かった。追加で質問事項にない質問が来た時、アドリブで応えた。事前に用意してた質疑応答を練習するより、ある意味ぶっつけ本番の練習ができたことが嬉しい。」(2年就職希望者)
「今回参加してみようと思ったきっかけは、自分に緊張感や現実を与えるため。真和志は自分のペースで進めても平気だけど、そのままじゃ大学進学を真剣に考えられない!と思って。周りがやってないから、今はやらなくてもいいって考えを捨てたかった。今回やってない人達が最後にした面接って、高校受験かバイトだけだろうな。そう考えたら、別物のステージに受ける面接だから、バイトの面接とかとは比べられないし、なんの経験値にもならないと思う。」(2年大学進学希望者)

閲覧ありがとうございます